無償資金協力

案件概要書

2015 年 12 月 22 日

１．基本情報

(１) 国名：カンボジア王国

(２) プロジェクトサイト／対象地域名：プレイベン州、クラティエ州

(３) 案件名：洪水地域における緊急橋梁架け替え計画
（The Project for Urgent Replacement of Bridges in Flood-Prone Areas）

(４) 事業の要約：本事業は、洪水影響地域の重要道路である国道 11 号線及び国道 73 号線において、仮設橋の架け替えを行うことにより、洪水影響地域における安全、円滑で安定的な交通・物流の確保と共に対象地域の自然災害に対する脆弱性の軽減を図り、もって同国の経済基盤の強化に寄与するもの。

２．事業の背景と必要性

(１) 当該国における洪水対策/運輸交通セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

カンボジア王国の道路網は、1970 年以降の 20 年に及ぶ内戦の影響により、道路・橋梁等の多くが破壊された。1991 年の内戦終了時から日本を含めた国際社会の支援を得て復旧が進められ、道路・橋梁インフラの基幹部分については修復・整備が一巡しつつあるが、州・地方レベルでは修復が必要な道路・橋梁が依然として広範囲に存在している上、地方の道路網を構成する国道及び州道は、舗装率がそれぞれ 38.0%、10.2%であり、多数の仮設橋梁が利用されている。同国は、運輸インフラの整備が経済成長及び貧困削減の前提条件との認識の下、「国家戦略開発計画」（National Strategic Development Plan: 2014-2018）の中で、運輸インフラの修復と整備を優先すべき分野の 4 本柱の一つに掲げ、交通網整備を重点分野と位置付けている。

また、同国は、インドシナ半島のメコン河下流に位置し、国土の多くが低地であるため、近年においても 2011 年及び 2013 年の雨季に大規模な洪水が発生している。2013 年雨季の洪水被害では、死者 188 名、被災者 170 万人以上、14 万人以上が避難を余儀なくされ、道路・橋梁等のインフラにも被害が及んでいる。本事業の対象である国道 11 号線（プレイベン州）及び国道 73 号線（クラティエ州）は洪水地域における主要道路であるが、メコン河沿いに位置する両国道には、永久橋に比べ崩落のリスクが高く、幅員が狭いため対向車とすれ違うことができない複数の仮設橋梁が存在している。

国道 11 号線はメコン河の東岸沿いの洪水影響地域に位置しており、同路線は、国道 1 号線、7 号線、8 号線を接続する地域の主要道路として、地域物流を支えている。また、同路線は、洪水時に仮設橋の橋台周り、河床及び取付道路が浸食され安全性が損なわれている。これらの理由により、同路線上に存在する仮設橋の架け替えは喫緊の課題である。

国道 73 号線は首都圏から貧困率が国内で最も高い北東州への物流を確保するため

に必要不可欠な主要道路であり、物流の代替手段が限られる中、自然災害により同路線が遮断されることで貧困地域が被る被害は甚大になると想定される生活道路である。そのため、幅員が狭いため対向車とすれ違うことができず、永久橋に比べ崩落のリスクが高い仮設橋の早急な架け替えは同路線にとって喫緊の課題である。

(２) 洪水対策/運輸交通セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

近年、同国では、経済効果の高い重要な回廊もしくはプノンペン都内の道路整備が優先されており、本事業の対象地域は洪水の被害を受けやすいにも関わらず、地方部であることから道路・橋梁の整備が遅れている。本事業の支援対象である仮設橋は、安全で円滑な交通・物流の障害となっており、かつ自然災害への脆弱性も高い。対カンボジア王国国別援助方針（2012 年）における重点分野として「経済基盤の強化」が定められ、本事業は、我が国の協力方針に合致する。

また、我が国は、過去、無償資金協力「洪水対策支援計画」（2013 年）を実施し、国道 11 号線の仮設橋を 8 橋架け替えるとともに、コンポンチュナン市の道路整備を実施した。本事業の支援対象である仮設橋 2 橋を架け替えることで、国道 11 号線の仮設橋は全て架け替えられる。

(３) 他の援助機関の対応

ADB：洪水被害緊急復旧プロジェクト（2012-2015 年）2011 年の洪水被害地域における道路・橋梁改修・架け替えを実施。

(４) 本事業を実施する意義

本事業は、カンボジアの開発政策及び我が国の援助方針等に合致している。また、上述のとおり本事業を通じた安全で円滑な交通・物流の確保及び自然災害による生命・生活に対する脅威への対応が必要であり、無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

３．事業概要

(１) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、洪水影響地域の重要道路である国道 11 号線及び国道 73 号線において、仮設橋の架け替えを行うことにより、洪水影響地域における安全、円滑で安定的な交通・物流の確保と共に対象地域の自然災害に対する脆弱性の軽減を図り、もって同国の経済基盤の強化に寄与するもの。

② 事業内容

i. 施設、機材等の内容：国道 11 号線の 2 橋、国道 73 号線の 3 橋、計 5 橋の架け替え

ii. コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計・施工監理、実施機関への技術指導等

iii. 調達・施工方法：協力準備調査にて確認

③ 他の JICA 事業との関係

実施機関である公共事業運輸省（Ministry of Public Works and Transport）をカウンターパートに技術協力「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」（2015-2018

年）を実施している。実施機関の維持管理能力強化を目的とした同技術協力プロジェクトで強化された維持管理能力は本事業にも活用される見込みである。

(２) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：公共事業運輸省

② 他機関との連携・役割分担：特になし

③ 運営／維持管理体制：本プロジェクト実施後の橋梁の維持管理は公共事業省及び各州の公共事業運輸局（Department of Public Works and Transport）が行う。我が国は、技術協力等を通じて公共事業運輸省の道路・橋梁維持管理能力向上を継続的に支援している。公共事業運輸省に配賦される道路橋梁の維持管理費は増加傾向にあることが確認されており、現状、維持管理予算に問題は見受けられない。（詳細は協力準備調査にて確認）

(３) 環境社会配慮

① カテゴリ分類　□A　■B　□C　□FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる橋梁セクターのうち、大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(４) 横断的事項

協力準備調査にて確認

(５) ジェンダー分類

ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(６) その他特記事項

本事業はメコン河の洪水に対応する案件であることから、気候変動対策に資する案件として気候変動の「適応策」に位置付けられる。

４．過去の類似案件の教訓と本事業への適用

同国において過去実施された無償資金協力「主要幹線道路橋梁改修計画」（評価年度 2011 年）の事後評価結果等では、公共事業運輸省の橋梁維持管理能力が課題とされていた。我が国は公共事業運輸省をカウンターパートとして技術協力「建設の品質管理強化プロジェクト」（2009- 2012 年）及び「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」（2015-2018 年）を実施し、実施機関の維持管理能力強化を継続的に支援している。また、本事業の実施に際しては、ソフトコンポーネント実施による同技術協力プロジェクトとの連携を検討する。

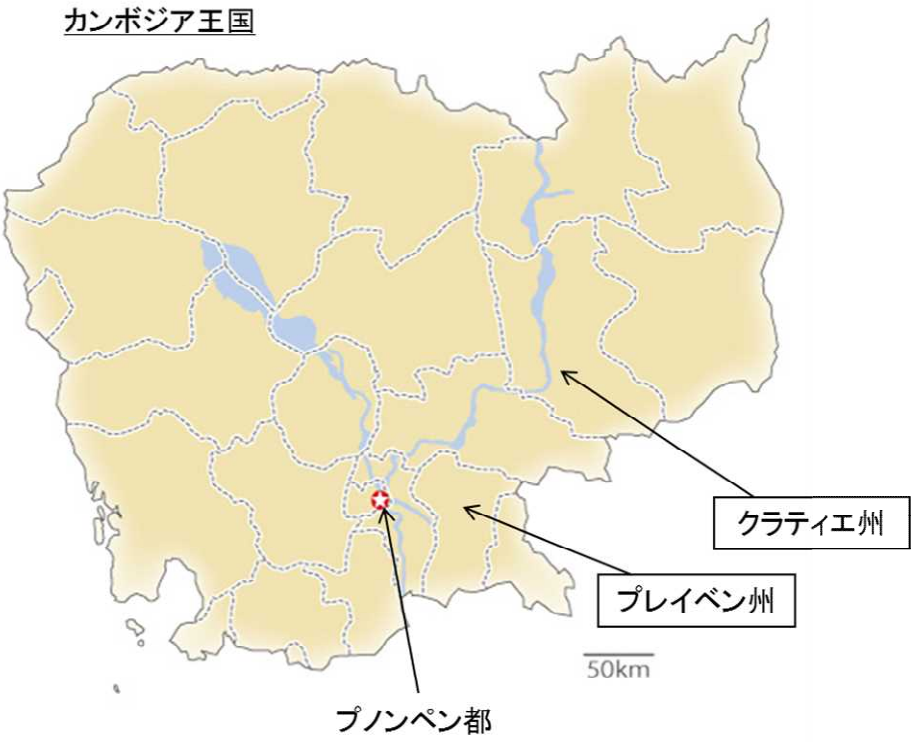
以　上

［別添資料］地図

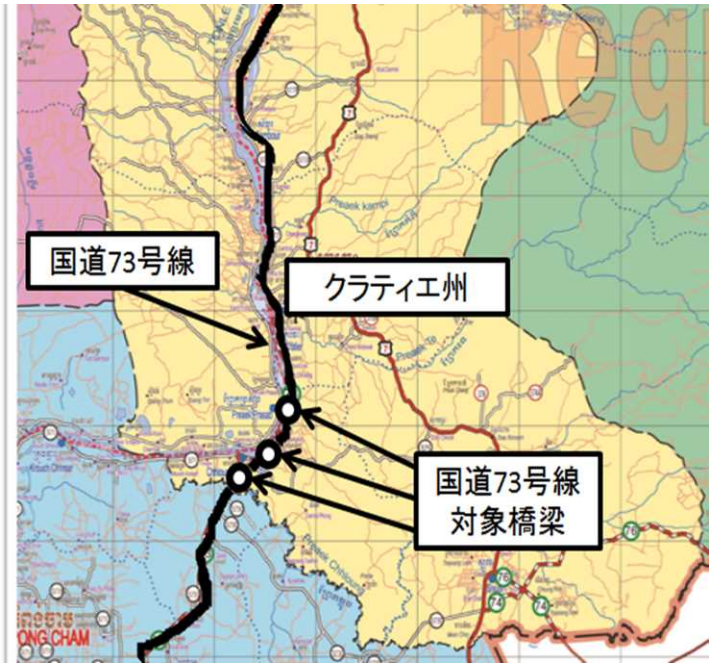
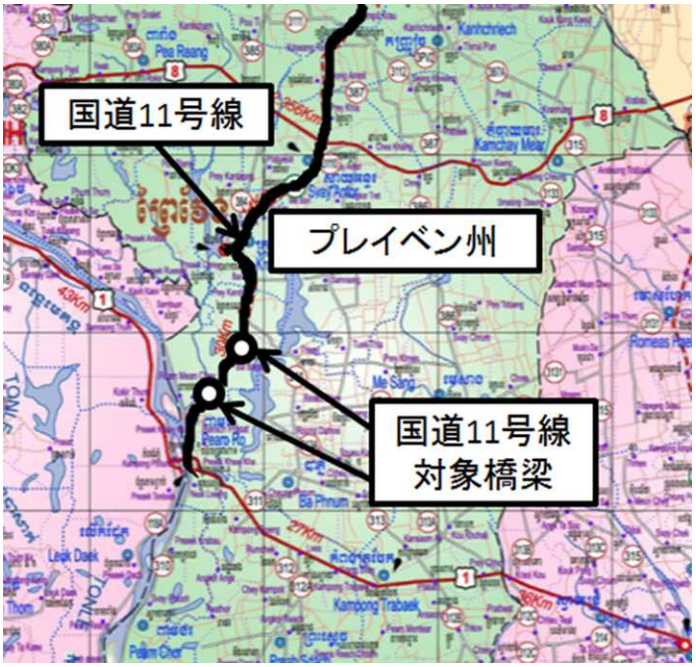
別添資料

洪水地域における緊急橋梁架け替え計画　地図

対象地域



クラティエ州



プレイベン州